



第34図 電気自動炊飯器



第35図 ポップアップ式トースター



第36図 TH-669型トランジスタポータブルラジオ

本器は手動の2枚両面焼トースターであるが、ツートーンカラーの高級外装であつて、均等に早く焼ける経済的なものである。着脱自在な舟型のベースは使用時にはパン屑を全部收容してテーブルや床を汚すことなく、取りはずしての掃除は容易完全な独得の構造である。

### 11.4 ラジオおよびテレビ

#### 11.4.1 ラジオ

Hi-Fi ホームラジオおよびトランジスタラジオの量産設計の基礎を確立した。ホームラジオ S-569 は2バンドのHi-Fi ラジオでその最も特長とする音響系は低音用および高音用の2ウェイスピーカーシステムを採用したが、スピーカーはキャビネットに斜上向に取り付けかつ特殊な角度に高音拡散用ディフューザ (diffuser) を設けた。このため高音部は一度反射拡散され臨場感をもつた音質とすることができた。

トランジスタラジオ TH-669 は日立トランジスタ6石およびゲルマニウムダイオード1石を使用した6石スーパーヘテロダイン方式でプリント配線方式を採用し製品の均一、安定化を計つた。セットは小型ながら密閉型キャビネット構造および、スピーカーの改良によつて音量、音質の向上を計つた。

つづいてホーム・ラジオは2バンドのもの3機種、またトランジスタラジオとしては両期的なパワートランジスタ

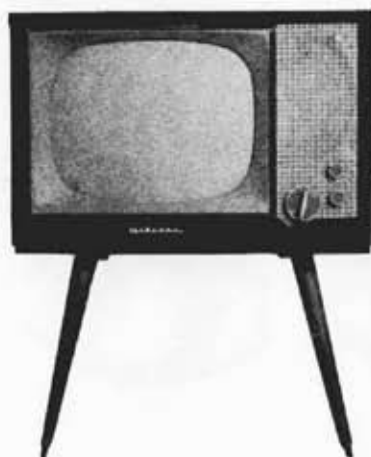
使用セットをはじめ、ポケットタイプなど3機種を発表した。

#### 11.4.2 テレビ

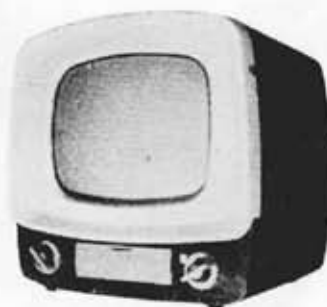
需要の中心である14inの受信機としてFMB-490、FMB-790 および FMB-290 の3機種をまず発表した。これらはいずれも90度偏向メタルバックブラウン管を使用した最初の製品として注目をひいたが、なかんづくFMB-290は中間周波4段としたほかに雑音抑制回路を設けて、感度と同期安定度の両面において最高級の性能を発揮した。これらの各機種はいずれもチャンネル増設計画案発表に即応して11チャンネル実装に切換えを行つた。6月に発表したSMB-300は普及型17in受信機として小型化および合理化により原価低減を行うと同時にチューナの改良などにより感度向上を図り、14inコンソレットタイプのFMB-310Gとともに超距離用としての性能を遺憾なく発揮した。

さらに引き続いてFMB-290より一段と高性能の14、21inの最高級超距離用をはじめ、14inの家庭用標準型に至る各種新機種を発表した。

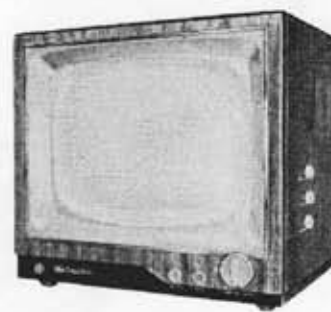
また各機種を通じて安定度の向上、サービスの便、およびプリント配線への移行を可能とするため回路の統一を図りつつあり、音声回路はその準備を完了した。またテレビ受信機のアクセサリとして(1)セットから離れて電源スイッチの開閉および音量調節の可能なリモートコントロールユニットC-10、(2)FM受信の特長をいかしたHi-Fi音を再生するためオーディオスタンド(スピーカーボックス)ES-10Gなどを製品化した。



第37図 FMB-310G型14in超距離用テレビセット



第38図 FMY-480型14in超距離用テレビセット



第39図 SMB-300型17inテレビジョンセット